

アルンプシュパラジ・ラジャクマラン (アルン)

スリランカ・メソジスト教会(MCSL)

スリランカ・キリノッチ県 パラタン

民族 / 部族: スリランカ
母語: タミル語
宗教: キリスト教
職業: 牧師



仕事について：

「戦争で荒廃した国の人々を、あらゆる面で助け、導く必要がある...私が彼らを助けるためには、まず私自身が助けられなければなりません。」

スリランカのメソジスト派の牧師で、教会の農場プログラム「ナヴァジーヴァナム」を統括するアルンプシュパラジ・ラジャクマランはこう語ります。

アルンは子どもの頃から野菜を育て、鶏や牛を飼う生活を送っていました。学校を卒業した後に行った、難民キャンプでのボランティア活動を通して、内戦によって深刻な影響を受けた多くの老若男女と出会いました。これがきっかけとなり、彼はソーシャルワークに人生を捧げ、戦争で荒廃したコミュニティの再建を支援するようになったのです。

現在アルンが奉仕しているコミュニティは、歴史的背景も宗教も異なる人々で構成されています。コミュニティの人々、特に安定した職を持たず、収入と食糧の確保を切実に必要としている恵まれないメンバーたちは、内戦の後遺症に苦しめられています。さらには、より良い機会を求めて国外へ移住する人々が後を絶たず、地元に残る住民の数は減少の一途をたどっています。

アルンは研修後、ナヴァジーヴァナムの持続可能性を高め、有機農業の知識を確実に次世代に継承するための活動を続ける予定です。

送り出し団体について：

スリランカ・メソジスト教会（MCSL）は1814年に設立され、スリランカのコロンボに本部を置いています。そのビジョンと使命は、多文化、多言語、多世代のコミュニティに、神様の創造の多様性を反映し、コミュニティのあらゆる年齢や背景の人々に奉仕することにあります。MCSLは、アルンがこの事業を強化・拡大し、教会の教区の人々の能力を高めてくれることを期待しています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)